

令和6年度 第1回 学校運営協議会・学校関係者評価委員会（議事録）

岡山県立岡山西支援学校

開催：令和6年7月6日

10:00～11:50

出席者

■ 学校運営協議会委員

岡田委員、河田委員、祇園委員、熊代委員、澤井委員、武縄委員、田中委員、友末委員、荻原委員、宮野委員（杉山様代理出席）、栗津委員

■ 本校職員

宮内副校長、兼信事務長、小銭教頭、小田教頭、頃末主幹教諭、青木指導教諭、板野指導教諭、森分進路指導主事、竹内生徒指導主事

1. 開会

【校長あいさつ】

地域に開かれた学校づくりの観点を大切にしながら、学校運営を行っていきたい。
忌憚のないご意見をいただきたい。

【委員自己紹介】

【会長・副会長の選任】

本来は互選であるが、今回は事務局より会長と副会長の提案をしたいが、いかがか。

⇒ 賛成多数により承認される。

このことにより、学校運営協議会の司会は会長が務める。

2. 協議

【全体会】

（1）学校運営について

学校教育目標について

- 職員会議において共有しているところである。

学校経営計画について

- 昨年度末の学校運営協議会で提案し承認されたものから変更はない。
- ここに記した「本校のビジョン」を実現できるようにしていきたい。

（2）いじめ対策について

- 資料をもとに説明を行った。
- 認知したケースについては、記録を取りながら的確に情報を共有し、「いじめ認知の見逃しゼロ」を目指したい。

（3）学校運営協議会の組織編制について

- 資料をもとに説明を行った。
- 本年度より、3つの専門部会を立ち上げたい。専門部会においてそれぞれの課題を検討・協議したことを、全体会として共有しながら進めてまいりたい。

【専門部会における協議】

【全体会での共有】

福祉・就労部会

- 「福祉・就労」という名称だが、進路（就労）の色が濃い。
- A型事業所の現状について、情報共有を行った。

安全・防災部会

- 公民館が主催して毎年実施している「地域の避難訓練」を、次年度、本校体育館を会場として実施することについて、提案を行った。
- 今後も、公民館や地域の町内会と情報連携をしていきたい。

教育支援部会

- 学校ボランティアとして来校してくださる方に、どのようにやりがいを設定していくかは今後とも考えていく必要がある。
- センターの機能の発揮をするとともに、外部講師の招聘も考えていきたい。

3. まとめ（各委員より）

（委員）避難訓練については、今後につながるものとなるよう計画していったほしい。

（委員）公民館も「地域に開かれた公民館」を目指している。地域の機関の一つとして、学校と協同して様々な取組を行っていききたい。

（委員）支援学校での避難訓練はH27年度に行われ、その時に作成されたマニュアルを生かして、地域での訓練に生かしている。中学生を対象にして、炊出し訓練なども行っている。

（委員）有事の際に、我が子とどこに避難するかは大きな課題。学校を会場として、地域の避難訓練が行われるのは有意義なことだ。

（委員）ひらた旭川荘では、8月下旬に屋外ステージにて「ほしぞらサマーコンサート」を開催予定。以前はわかさ学園に入所している生徒が参加していた。今後も学校と連携をもっていきたい。

（委員）専門部会に分かれて様々な課題を協議するというやり方はとても効果的だと感じた。

（委員）キャリア教育の視点をもって指導されていると思った。引き続き、学校とつながりを持っていきたい。

4. 学校関係者評価について（頃末主幹教諭）

- 今年度の実施スケジュール及び質問項目の提案について、資料をもとに説明を行った。

5. 閉会

【校長あいさつ】

今回いただいた意見については、今後の学校運営に取り入れていきたい。そして、第2回、第3回の学校運営協議会で、良い報告ができればと思っている。